

限定版

The Moon and the Sun

日月

Sera 月





The Moon and Savage
presented by Sera

C O N T E N T S

月と野蛮人 第一話 5
小説ショコラ2009年7月号

月と野蛮人 第二話 37
小説ショコラ2009年9月号

月と野蛮人 第三話 55
小説ショコラ2010年1月号

月と野蛮人 第四話 87
小説ショコラ2010年3月号

月と野蛮人 第五話 115
小説ショコラ2010年7月号

月と野蛮人 第六話 145
小説ショコラ2010年9月号

あとがき 192
描き下ろし

月夜にくちづけ 194
描き下ろし



ユリエル様



ねえ

エルヴェ

この本にある
「ロアデイス」って
本当にあったと
思う?!



また
その本を
お読みですか?

うん!



何千年も昔
砂漠に沈んだ
伝説の都
でしょう?!



北アフリカ
シムア王国に
伝わる神話
ですね

神話は
あくまで
架空の物語では
ないでしょうか？

そうかな？

もしも
史実であれば
それはロマンチック
だと思いますが…

水の神が治めていた
緑豊かな都
ロアデイスは

月の神との
戦いに敗れ
一夜にして
砂の底に
沈められて
しまっんだ

僕はいつか
……

大人になったら
探してみたいな…

どこかに眠るかも
しれない…
ロアデイスの遺跡を！

e
un
La
née
st



月と野良犬

【第一話】

19世紀
北アフリカ

シムア王国
ウム・ラル砂漠

ユリエル殿下！

シヤリエ教授！

驚きました
な——

まさか本当に
いらっしやる
とは…!!

はい！
来ましたよ
教授!!

調査は
進んでいますか？

ラピスラズリは
出土して
いませんか？

エジプトとの
交易の跡は…

ユリエル様…
着く早々
そのように
矢継ぎ早に
質問されては…

残念ながら
ローアデイスに
通ずるものは
発見されて
いません…

そうですか…

何か
手がかりでも
見つかったら…と
思ったのですが…

ここは少々
新しい時代の
城壁跡のようですね

でも憧れの
ウム・ラルです！

上から見学して
いいですか？

もちろん
どうぞ！
足元に
お気を付けて

ユリエル様！

はしゃぎすぎて
落ちないで
くださいよ！

わかってる！

こちらに
いらつしやると
伺った時は
まさかと思い
ましたが：

よく本国の
お許しが
出ましたなあ！

許しなど
出る訳が
ありません
二んぢ危険な
場所！

完全な
お忍びですよ

何と！

本国には
フランス留学中
最後のバカンスを
アルヌ男爵邸で
過ごします…

…と
大ウソ
ついてきました
男爵は
協力者ぞう



きみのためなら
何でもするが…
無事に帰ってこいよ
おんれ♡♡♡



前国王
王女

- エドアルド7世 (長男)
- (二男)
- (三男)
- (四男)
- ユリエル (五男)

ユリエル様は
ラファージ王国
現国王の末弟
です



…にも
かかわらず

王家から離れ
田舎の古城で
国民から隠れるように
暮らさねばならない…

国に戻ればまた
そのような日常が
待っているのです

エルヴェ!



ロアデイスを
研究なさってる
シャリエ教授が今
遺跡の調査で
ウム・ラルに
いらっしゃるんだ!

僕も
行けない
だろうか?

ロアデイスが
眠るかもしれない
砂漠を…
一目でも見たいんだ
……!!



チャンスは今しかありませんでした…

多少の危険を冒しても…

この地にユリエル様をお連れしたかったのです…



エルヴェ様…

旅券の偽造までしましたよ！

はは…

バレたら打ち首だね！

わ…私も共犯という事では…

バレなければよいのです

むむむ…



あの笑顔を見ただけでも

ここへ来た甲斐があると
いうものです
打ち首になっても
本望ですよ

イヤリス



エルヴェ！
すごいよ
早く来て！

あんなに生き生きしたユリエル様を見るのは初めてです



見渡すかギリの岩砂漠だ

本当にだね



この地のどこかに

ロアデイスが
実在したかも
しれないよ？

この風景を
見てると
私もそんな気が
してきましたよ

教授！
もっと奥地を調査
する事はできないので
しょうか？



したくても
無理ですなあ…

ウム・ラルを
統治する
セルデイレ族が
よそ者が
立ち入る事を
ゆるさんのです

この遺跡は
ウム・ラルとはいえ
ほんの端に
位置しますし…

特別に
シムア王家から
調査の許可書も
出ているので
彼らも黙認して
いますが…

奥地に
入り込めば
殺されますぞ

そんなに
恐ろしい部族
なのですか？

セルデイラ族の事は私も知っています

本来遊牧民である彼らですが…

ひとたび戦いになると恐ろしい程の結束と戦闘力を発揮し

どんな大国の軍隊も砂漠^{ウム・ラル}を知り尽くした彼らに勝つ事はできないといえます

好戦的で野蛮な民族です

特に我々ヨーロッパ人には容赦ありません交渉すらしてくれません

シムア王家に仲介してくれる人はいないでしょうか？

シムアのマデイーク王子とセルデイラの首長は親交が深いと聞きはしますが…

うーむ…

近寄っては「おらん者達」ごめん…

シムア…

マデイーク王子なら…

僕も一度だけお会いした事がありますよ！



13年前

我が国の式典に
出席して下さった時…

大人しく
しているよう
言われていた
のに…

ムラ-SHMが控木也…

僕はどうしても
我慢できなくて…

あの…

マテイク王子



عزمتك اتمنى

ロアデイスは
本当にあったと
思われますか？



ねえ
エムグエ

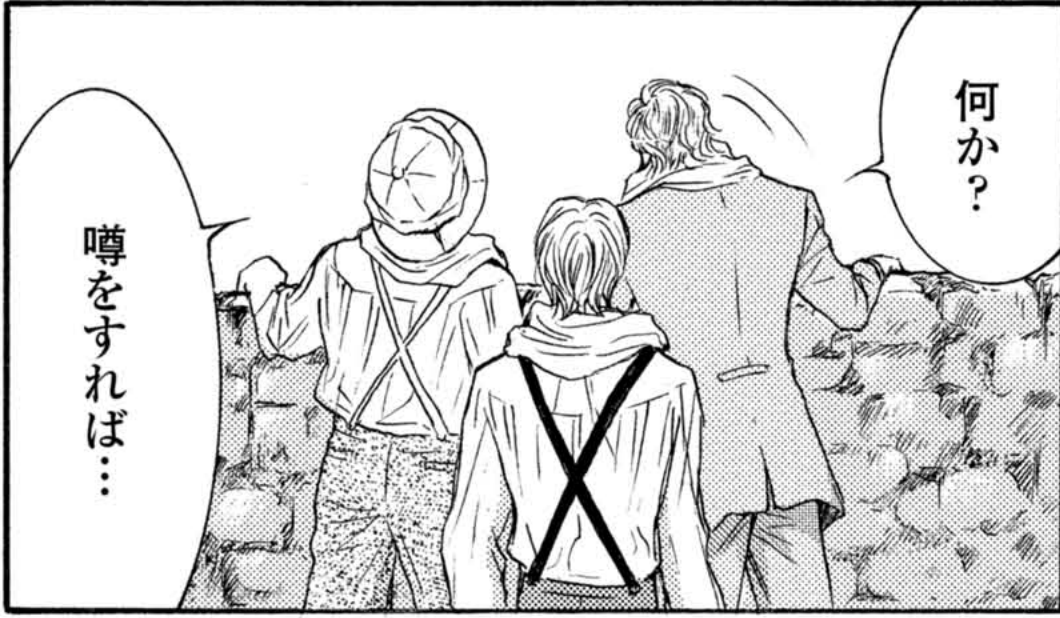
でも
あの王子なら
調査に協力を
……

しっ！

お静かに！



何とおっしゃったのか
……言葉は
わかりませんでした
……



何か？

噂をすれば……



セルデイラ族
です

奴ら何を
しに来たので
しょう

レユル！！



発掘品を持ち出さぬ
という約束の上でなされた
許可の筈

持ち出してなど
おりません!!



どういうこと
ですかな?!

我々はシムア王家の
許可の下 調査を
行っておるのですぞ!



教授
すみません
見つかって
しまいました!!

ではこれは
何だ?



わ…悪かった!!
許してほしい

約束は破られた

お前達はもう
シムアの客人ではない!



教授?!
何と言ってるの
ですか?!

んむむむ…

ずっと
見張られて
いたのか…

何が
起こって
いるのです?!

着く早々
申し訳ありま
せん…殿下…

研究の為
必要で…
つい…



ええー?!

大変です!
奴らが
来ます!

エルヴェ様!
殿下を連れて
お逃げください!!



全員捕えろ

はっ

教授は？
他の皆さんは？

我々は
何とかかなり
ます！

注意を
引きつけている
内に早く！
裏に馬がおります

行きましょう

一緒に
捕まって万一
身分が知れ
たら…

教授にも
本国にも
迷惑がかり
ます

全力で
東に走って
ください！

ウム・ラル
砂漠を出れば
ヤツらは
追ってきません

教授！
どうぞ
ご無事で

カッ…

カッ…





*この続きは製品版でお楽しみください。

本作の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体などにはいっさい関係がありません。

書名 月と野蛮人 限定版 (サンプル)

著者 せら

発行所 株式会社 心交社

住所 〒171-0014

東京都豊島区池袋2-41-6 第一シャンボールビル 7階

発行日 2016年6月15日

© 2016 Sera

※本書の無断複写・複製・転載を禁じます。